

9月26日(土)	第1室 (共北25)	第2室 (共北26)	第3室 (共北27)	第4室 (共北28)	第5室 (共北31)	第6室 (共北32)
ワークショップ						
9:40~12:00	”Encoding and understanding events: A cognitive and typological perspective” ○Chiarung Lu, Shuanfan Huang, Lily I-wen Su, Li-May Sung, Hintat Chueng, Janice Fon (National Taiwan University)	中国語母語日本語学習者の事象把握—日本語主専攻学習者を対象とする調査の結果から— ○近藤安月子(東京大学大学院)、姫野伴子(明治大学)、足立さゆり(白百合女子大学)、王安(島根大学) ディスカッション:池上嘉彦(昭和女子大学大学院)	認知言語学のパラダイム再考 ○岡智之(東京学芸大学)、浅利誠(ボルドー第三大学)、中野研一郎(京都大学[院])	「私たち」の〈事象把握〉と「語り」—「語り」の空間の構築と共有— ○守屋三千代(創価大学)、テキメン・アイシェヌール(アンカラ大学・国立国語研究所)、高山京子(神奈川県立菅高等学校)	言語進化のアプローチと対話 ○中村芳久(金沢大学)、藤田耕司(京都大学)、橋本敬(北陸先端科学技術大学)	言語変化への認知的・形式的アプローチ ○小林茂之(聖学院大学)、金野武司(北陸先端科学技術大学院大学)、中村誠(北陸先端科学技術大学院大学)、高橋光子(流通経済大学)

9月26日(土)	第1室 (共北25)	第2室 (共北26)	第3室 (共北27)	第4室 (共北28)	第5室 (共北31)	第6室 (共北32)	第7室 (共北38)
研究発表							
15:15-15:55	”On raising constructions: a corpus-based study” Yoshikata Shibuya and Hajime Nozawa (Kyoto University of Foreign Studies)	”Like hell and polarity reversal” 五十嵐海理(龍谷大学)	「中国語“A一点”「形容詞＋不定数量詞」の意味拡張に関する認知的考察」山根史子(東京外国語大学[院])	「小学生の作文にみられるオノマトペ分析による共感覚比喩—方向性仮説再考」坂本真樹(電気通信大学)	「英訳俳句におけるNP V-ingの意味—認知言語学的観点から—」石丸雄介(聖トマス大学[院])	「理由 P because Q の概念構造における非明示的な志向的態度について」片岡宏仁(関西外国語大学[院])	「日本語話者の〈好まれる言い回し〉としての「ていく/くる」の補助動詞的な用法—対応する韓国語の「e kata/ota」との比較を通して—」徐珉廷(昭和女子大学[非常勤])
15:55-16:35	“Towards an embodied “simulation-based” account of the English article system” 高橋博(国際基督教大学)	”Is long a kind of big? — An ontolinguistic study of sense relations in the semantic domain of dimension.” Misuzu Shimotori (Umea University, Sweden)	「日中視覚動詞文法化の一側面—本動詞間の非対応性による文法化の違いを通して—」山本幸一(愛い—)夏海燕(神戸大学[院])	「メトニーの下位区分—代名詞の照応現象の違いを通して—」山本幸一(愛い—)夏海燕(神戸大学[院])	「所有対象の特定性: 認知構造との関連について」川島嘉美(金沢大学[院])	「There—アマルガム構文を生み出す認知メカニズム」高木勇(京都大学[院])	「理由を累加する日本語存在文の接続助詞用法: 英語There構文との対照から」大西美穂(名古屋大学[院])
16:45-17:25	“Sustainability factors of simulation perspective in language comprehension” Manami Sato, Dan X. Hall, and Benjamin K. Bergen (University of Hawaii at Manoa)	「複合助詞「～を通して」の意味分析」廣瀬裕子(フリー)	「日本語母語話者とロシア語母語話者の日本語発話データにみる(主観的把握)と(客観的把握)」松井一美(創価大学[非常勤])	「植物」のメタファー再考—慣用表現に付随する意味的韻律と主観性—」大石亨(明星大学)	「名詞句の転移修飾化について」加藤恵梨(名古屋大学)	「主題非明示型結果構文の意味論的・語用論的特徴付け」對馬康博(北海道大学[院])	「絵本にみる日独の表現傾向—特に証拠性と接続性の観点から—」宮下博幸(金沢大学)
17:25-18:05	“A Preliminary Note on Multi-Story Model — How We See the World and Express It” Kunie Miyaura (Aichi Prefectural University)	「「～がてら」の意味分析」梶川克哉(名古屋大学[院])	「「顔」と「wajhu」—〈顔〉概念の日本語・アラビア語の対照研究—」アルモメン アブドゥラ(学習院大学大学院)	「抽象性の低いスキーマの重要性—「切る」と「割る」における対象格と場所格のメトニー—」許永蘭(名古屋大学[院])	「[名詞＋他動詞連用形]型複合名詞の構文的多義性に関する一考察」野田大志(名古屋大学[院])	「事象構造からみた文の aspekto 形成と付加詞の表す subevent の役割」迫由紀子(福岡女子短期大学)	「談話モデルによるコ系とソ系指示詞の捉え方: 文脈指示の場合」郭玉英(東北大学大学院)